



**山形県木材産業協同組合**

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41  
 TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699  
 URL:http://www.mokusankyo.com  
 E-mail:yamawood@mokusankyo.com

- 目次
- 1 第 2 回山形県林業労働安全大会を開催!!
  - 2 盛況の住まい耐震博覧会!!
  - 3 地域組合の活動状況(酒田飽海支部)
  - 4 熊本地震の支援に対する御礼紹介
  - 5 新組合員の紹介
  - 6 木構造設計基礎講座を開催!!
  - 7 第 26 回県林業まつり実行委開催!!
  - 8 会議・調査・イベント
  - 9 6 月期の住宅着工状況



**1 第 2 回山形県林業労働安全大会を開催!! (木産協素材生産部会)**

7 月 1 日、酒田市にある「ガーデンパレスみずほ」を会場に、標記安全大会を開催したところ、全県の素材生産関係組合員及び従業員等 140 名が参加した。

本大会は、木産協組合員の素材生産事業体为中心となり、林業労働安全衛生を確保するため、県内 4 地区で持ち回り開催。本年度は庄内地区で開催。

大会は、前段に一条八幡宮(酒田市)の小野信幸宮司によるご神事が行われ、組合代表として阿部昭理事長及びご来賓代表として衆議院議員の加藤鮎子氏が玉串奉奠を行い、それぞれ関係者と共にお祓いを受けた。

本大会のご来賓は、衆議院議員の加藤鮎子氏、県議会議員の森田廣氏、県庄内総合支庁長の齊藤稔氏、庄内労働基準監督署長の東海林晃氏、庄内森林管理署長の松浦安剛氏、酒田市副市長の矢口明子氏、酒田市議会議員の梶原宗明氏ほか、地域の三森林組合長等であり、六名の方から祝辞をいただいた。

ご賓祝辞の後、庄内森林管理署長の松浦安剛氏による「森林・林業・木材産業の動向と労働安全」の演題のご講話で最新の関係情報をご教示頂いた。

安全確保関連では、今回は昨年度死亡事故等が発生した「フォワーダによる安全な作業」についてビデオ上映し、安全情報の共有を図った。

スローガンの唱和は、木産協青年部の遠田勝久君が音頭をとり、全員で労働安全を誓いあった。

ご来賓からは、若者が多く出席し、将来性のある産業の認識が深まった等の感想があった。

次年度は置賜地区で開催する。

平成 28 年度安全スローガン!!

「もしかしていつも心に危険予知！」 「日々のチェック心と体の健康管理！」



(挨拶する阿部理事長)



(ご神事状況)



(松浦庄内森林管理署長の講話)

## 2 住まいの耐震博覧会への参加

7月9～10日に、仙台市の「夢メッセみやぎ」で開催された標記博覧会に、県内の木材関係企業等を取りまとめ出展したところ、大きな反響があり、県産木材や本県関係技術のPRに一定の役割を果たすことができた。

入場者は約2万名で、出展メンバーは、揃いの木産協の緑の「法被」を羽織り、懸命にPRを展開し、その熱意は入場者に大きく伝わったものと感じている。

特に、今回の出展では、本県の選りすぐりの木製品・建築技術を結集し、一尺角の大黒柱を使い和風軸組の入母屋構造で「隅木」の高度加工により「屋根のそり上がり」を体現した建築物を中心に、クラフト木工品や高度加工住宅部材、ペレットストーブ、体験積み木広場、木造住宅にマッチする植物インテリア等を配置し、長井市のけん玉グループのパフォーマンスを展開し、観客が連続して関心を持てる構成にしたほか、県産木材を活用した10の事例を掲載した住宅パンフレットの配布等を行った。

また、この建物を建築したのは、本年10月に山形県を会場として開催される、技能五輪全国大会の建築部門の県代表選手である、沼澤工務店の柳橋悠氏であり、多くの木造ファンの注目を集めた。

両日共に、多くの集客があり山形ブースは活況を呈し、ディスプレイでは昨年度に引き続き銀賞であった。

5年にわたる出展で、県内の木製品、建築・木工加工技術、企画内容などは、全国に十分通用するものであり、今後の県産木材(特にA材)の売り込みに関して、差別化を図れる建築技術との連携等が大きなカギになる感触を得ている。

業務多忙の中、絶大なご協力いただいた関係各社並びに手伝いに来られた県林業振興課担当職員に御礼を申し上げます。

参加状況は以下のとおりです。



### 3 地域組合の活動状況（酒田飽海支部）

7月19日に、酒田市長丸山至氏に対して、木産協酒田飽海支部（支部長・阿部昭氏）は、酒田木材工業団地組合（理事長・高橋健一氏）、（協）やまがたの木乾燥センター（理事長・黒沼亨二氏）等との連名で、「木材産業振興に関する要望書」を提出した。

酒田飽海支部は、行政関係機関に対する要望活動を長年にわたり取り組み、地域組合活動の模範となっており、一定の成果の確保に結びつけている。

各地域組合でも組織体制を強化し、要望活動等の正攻法で、知事提唱の「森林ノミクス」の実現を迫る必要がある。（丸山市長に要望書提出する阿部理事長）  
要望書の内容について紹介するので、参考にさせていただきたい。



#### 「木材産業振興に関する要望書」

木材産業の振興につきましては、日頃から格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

市におかれましては「酒田市住宅改善資金貸付」、「公共施設の木造化推進」、「間伐材の利用促進」等、様々な地域材利用促進対策を積極的に推進されておられますことに心より感謝申し上げます。

さて、林業施策全般については、国の森林・林業再生プランや公共建築物等木材利用促進法の施行など、国産材利用促進に向けた環境は着実に整備されつつあります。また、酒田市は合併を契機とした森林面積が全体の60%を超える規模となりました。この酒田地域の森林資源は利活用できる成熟期を迎えており、さらには地産地消の運動も盛んに叫ばれています。しかしながら、木材価格の低迷等市内木材産業界を取り巻く環境は一段と厳しさを増しております。

このような状況を打開し、木材産業の活性化を図るためには、森林資源を核とし、川上から川下まで一体となった循環型社会の構築と需要動向に即応した新たな高品質木材の安定供給体制の確立が、きわめて重要であると考えております。我々、木材・製材業界といたしましても、活性化に向けて自助努力する所存であります。

特に、今年度以降事業の下記物件については、さらなる市産材の利用促進に特段のご配慮をお願いします。

#### 記

##### 【公共施設】

- 酒田駅周辺施設《酒田コミュニケーションポート(仮称)、ライブラリーセンター、観光情報センター、バス停留所等》、○酒田市斎場、○中町にぎわいプラザ(仮称)、○消防庁舎及び総合防災センター、○松山小学校、○平田統合保育所、○亀ヶ崎学区学童保育所、○商業跡地

##### 【その他事業者整備施設】

- 酒田駅周辺整備(ホテル、レストラン、マンション等)、○新産業会館整備(市街地再開発事業)、○市立幼稚園施設整備

## 4 熊本地震の支援に対する御礼紹介

4月に発生し甚大な被害を及ぼした熊本地震に対して、山形県木産協は「助け合いの精神」に基づき、全木連との連携の下、組合員の皆様から50万円の浄財を拠出いただき、熊本県の木材関係団体にお見舞いを行いました。

この度、熊本県木材協会連合会等より、御礼状が届いておりますのでご紹介いたします。

### 御礼

拝啓 梅雨の候 益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度の熊本地震に際しまして 心温まるご支援並びにご協力を賜り心から感謝とお礼を申し上げます。

さて 平成二十八年四月十四日に前震、四月十六日に本震が発生した熊本地震は 二回の地震が震度七を記録し 経験したことのない未曾有の大災害をもたらしました。特に、益城町及び南阿蘇村での被害は甚大であり、多くの住民の尊い命と財産が一瞬のうちに奪い去られ美しい自然に囲まれた住民の生活は一変いたしました。

現在熊本では 震度一以上の地震が一七〇〇回を超え 未だ収束が見えず大変困難な状況にありますが、全国各地の皆様方からの励ましと多大なご支援により 被災地の方々の生活再建を中心とした復旧活動に木材産業も一丸となって取り組んでいるところです。

お寄せいただきました義援金は 業界関係者の復旧・復興や被災された方々の生活再建など様々な面に役立たせていただきたいと存じますので、今後ともお力添えを賜ります様よろしくお願い申し上げます。

この度のご支援に改めて感謝申し上げますとともに、皆様の益々のご健勝とご発展をお祈りし、略儀ながら書中をもちまして御礼のご挨拶とさせていただきます。 敬具

平成二十八年六月吉日

### 山形県木材産業協同組合様

一般社団法人熊本県木材協会連合会

熊本県木材事業協同組合連合会

林業・木材製造業労働災害防止協会熊本県支部

会長 児 玉 文 雄

## 5 新組合員の紹介

### 株式会社 ECO グリーン米沢

### 代表取締役 池田克彦

この度、山形県木材産業協同組合に入会させて頂き有難うございました。置賜地域の森林資源を有効活用して地域活性化の一助になればとの思いで、本年6月に立ち上げたばかりの小さな会社です。県内では新たな木質バイオマス発電施設が着工され、また大手の集成材工場が進出し新たな木材需要が生まれます。

弊社は林業とは違う世界からの参入ですが、これまで林業に携わってこられた諸先輩にご指導をお願いしながら、地域の活性化に尽くす所存ですので、何卒よろしくお願い致します。

## 6 「非住宅木造設計の基礎講座」研修会を開催

### ～構造性能とコストに配慮した設計のため～

7月21日、22日の両日、山形市及び酒田市を会場に、標記研修会を開催したところ、設計・施工業界及び行政機関等から130名が出席し(行政関係者は約2割)、木造建築物への関心の高さがうかがわれる結果となった。

この取り組みは、公共建築物等木材利用促進法が施行され、非住宅木造建築物が増加している中で、比較的大きな非住宅木造建築物でも、市場流通材を使った取り組みが可能なことを知っていただくために開催した基礎講座であり、地域の木材資源や技術を多用し、街づくりに山形らしさを醸し出していただけるよう、特に、設計・施工、行政機関等を対象として実施したものである。

講師は、木造建築物の構造設計業務等に定評のある、㈱アルファフォーラムの取締役で一級建築士の「倉内菜々」氏を迎え、地域性を考慮し、山形市及び酒田市の二か所で開催したもの。分かり易い説明などもあり、参加者からは好評の感想をいただいている。

講師からは、①木構造建築物の設計上の留意点、②市場流通材を活用した建築事例、③耐火の規制、④木造化に適した建築物、⑤山形の建築物ならではの留意点等について、幅の広いお話を伺うことができた。

両会場共に、幾つかの質疑が行われたほか、終了後も講師を囲んで意見の交換が行われていた。この種の研修会は、木産協が積極的に継続・展開し、木造化の促進に関する、設計・施工業界との認識の違いを縮めていく必要があると考えている。

また、この研修会は、国の地域材利用拡大緊急対策事業を活用すると共に、県建築住宅課及び林業振興課からも周知等でご支援をいただいたほか、設計・施工団体及び村山・庄内地域の林業振興協議会なども共催又は後援に加わっていただき、大きな役割を果たしていただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

木材関係業界からは参加者が少なく課題は残したものの、4月に設立した山形県プレカット協会からは、賛助会員も全国からご参加いただいたほか、全面的にご協力いただき円滑な運営を図ることができました。有難うございました。



(山形会場の状況)



(講義する倉内菜々氏)

木産協の今年度の研修事業の第1弾であり、次回は8月24日の「森林・林業・木材産業の復活と地方創生」、第3弾は9月30日に「JAS 製材品と建築物との関連」、第4弾は12月に「合法木材認定事業者」研修会等、組合員のお役に立つ企画を準備しておりますので、奮ってご参加下さいます様御案内いたします。別途案内を差し上げます。

## 7 第 26 回山形県林業まつり実行委員会開催される!!

7 月 27 日(水)、村山総合支庁を会場に標記実行委員会が開催され、関係団体、行政機関から 30 名が出席し、本年度の実施体制及び内容が決定された。

26 回目を迎える林業まつりは、関係者のご尽力により、県内農林関係の最大級イベントに成長すると共に、集客力があり県民に定着した人気のある体験型イベントとして、他のイベントから共催なども申し込まれる存在となっている。

本年度も 36 の関係機関・団体の実行体制が生まれ、実行委員長には森林協会の細野会長が、副委員長には木産協の阿部理事長等も就任したほか、事務局は例年同様に木産協が中心となり組織されることになった。

森林・木材が大きく注目されるようになったのは、組合員の皆様が 26 年にもわたり地道な普及啓発に取り組んできたことも大きな要因と考えている。本年度の林業まつりへのご協力もよろしくお願い致します。

期日は、10 月 22 日 (土) 12 時～16 時、23 日 (日) 9 時～15 時

会場は、山形県総合運動公園特設駐車場 (天童市)

従来の多数の出展のほか、本年度の新たな取り組み等は次のとおり。

	項 目	概 要
1	第 54 回技能五輪全国大会との連携	県総合運動公園の隣接会場で、同日開催される「ものづくりの祭典」である技能オリンピックと連携する。全国から選手団、観客が集う。
2	県農林大学校ブースの設置	東北初の林業関係学科学生による展示・企画
3	「山の日」の制定に伴う展示ブースの設置	8 月 11 日の「山の日」の制定を記念した、県内の山岳・森林等に関する PR。県みどり自然課や県山岳会等を予定。
4	第 2 回木工品プロダクトコンペ表彰式	9 月に審査会が開催される第 2 回木工品コンペの表彰式をステージで開催する。
5	アトラクション関係の新登場 ○宮城三女 OG 合唱団 ○東根市よさこい「いでは組」	○東日本大震災復興はいまだ途上にある中で、毎年被災地で活躍している文化団体等を招待しており、本年度は、世界に復興支援の感謝の歌を届けている宮城三女 OG 合唱団が来県する。 ○全国イベントに毎年 30 回の出演をこなし、県内で一番元気のある「よさこいダンスグループ」である東根「いでは組」が初めて登場する。

※ 取組みは予定であり、変更がある場合があります。

※ 7 月 28 日の農林水産祭事務局会議では、林業まつり徹底時の大型トラックの入場時間の厳守が求められた。

※ 協賛団体に、山形県プレカット協会も加わりました。

※ 協賛広告や出展に関する申込みは木産協 HP をご覧ください。経費等は前年と同じです。

※ 地域林業振興協議会ブースで参加したい方は各総合支庁森林整備課にお問い合わせ下さい。

### ○ 注目願います。「夏のギフト作戦」を継続展開中!!

木産協推薦の夏のギフト「丸大ハム」。6 月号に同封したパンフレットをご覧ください。大好評配送中です。是非一度お試し下さい。ご自宅での購入でも 3 割引で大変お買い得です

## 8 会議・調査・イベント等

<p>(1) 天然乾燥材ストックヤード整備計画の打ち合わせ会  日 時：8 月 1 日 15 時～、会 場：大江町役場  内 容：西山杉の振興について、天然乾燥材による安定供給の方策の検討会  その他：専務理事が出席予定</p>
<p>(2) おきたま木材乾燥センター株式会社 新会社設立式典  日 時：8 月 4 日(木)16 時半～、会 場：パレス松風(白鷹町大字十王)  内 容：白鷹町を中心とした西置賜の森林資源の利活用を促進するため、木産協組合員の「丸ト建設株」が中心となり、施工会社を含む関係 6 社で地域材の乾燥センターを立ち上げたもので、木造化を予定している役場新築への乾燥木材の供給にも大きく寄与することが期待されている。理事長代理で専務理事が出席予定。</p>
<p>(3) やまがた森林ノミクス推進に関する座談会  日 時：8 月 4 日(木)14 時半～、会 場：山形県庁  内 容：「やまがた森林ノミクス」推進のため、知事と各界有識者の座談会が開催され、関連する取り組みや関係行政施策等について意見を交換し、その内容をマスメディア等を活用し、広く県民に周知し取り組みの一層の推進を図る。  木産協への説明要請は「川中での取り組み」で、阿部理事長が出席する。</p>
<p>(4) 第 2 回山形県原木流通協議会  日 時：8 月 9 日(火)10 時半～ 会 場：山形県産業創造支援センター  内 容：協和木材に対する共同納材組織設立に向けてのこれまでの準備経過及び今後の進め方について意見を交換する。木産協からは、阿部理事長等が出席する。</p>
<p>(5) 発電利用に供する木質バイオマス証明ガイドライン調査  2012 年の「再生エネルギーの固定価格買取制度」並びに「発電利用に供する木質バイオマスの証明のためのガイドライン」が開始・運用されてから約 4 年が経過し、林野庁事業により、ガイドライン運用の実態について、組合員の取り組み及び課題等の意見に関する現地調査が行われることになっている。該当された組合員はよろしくご対応下さる様お願いいたします。  日 時：8 月 17 日(水)～8 月 19 日(金)  該当者：山形県木材産業協同組合、S 林産(米沢市)、GR チップ製造(村山市)、YGP 発電(村山市)、I 製材(村山市) 5 か所  その他：調査の主体は、(一社)日本木質バイオマスエネルギー協会が行い、該当事業所には、別途詳細が送られることになっており、御協力下さいます様願います。</p>
<p>(6) 「森林・林業・木材産業の復活と地域創生」講演会 (木産協主催)  日 時：8 月 24 日(水) 15 時～  会 場：山形国際ホテル 5F 「鳥海の間」  講 師：(一財)日本経済研究所専務理事 鍋山徹氏 (地域未来研究センター長)  内 容：自然資本と林業、木材産業の成長戦略、森林資源利活用を通じた地方創生、多様なマネジメントの導入、国民に愛される森林づくり等について、従来の成功事例報告を超えた林業・木材産業の社会的・歴史的立ち位置を踏まえた提言  その他：参加無料。申し込みはチラシ又は木産協 HP からのダウンロードによる用紙を使い、8 月 19 日まで木産協宛て FAX 送信願います。</p>

※その他、5 日には山形木材業組合の市産材を使ったブランド品開発の会議(於森林会館)等も開催されるなど、8 月も多数の行事が予定されています。

## 9 6月期の住宅着工状況

6月期の住宅着工については、特定地域の貸家等の伸びが目立つ。累計では、昨年度の数字を越すことは難しいが、ここにきて材の動きも出てきたと言われており、今後に期待。木造率及び在来軸組も堅調である。先日開催の「木構造計算の基礎」研修会の盛況さを見ても、設計・施工業界の関心は高いと感じている。

### 1 県内新設住宅着工戸数(平成28年6月)

(単位:戸)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	民間	その他	戸数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
27年	5,403	3,076	1,721	15	591	5,338	65	4,575	84.7%	3,138	130	1,307
27.1~6	2,481	1,570	590	3	318	2,460	21	2,133	86.0%	1,509	72	552
7月	511	289	174	6	42	507	4	431	84.3%	305	7	119
8月	500	276	195	1	28	486	14	444	88.8%	267	8	169
9月	542	267	223	1	51	532	10	437	80.6%	279	11	147
10月	417	238	133	2	44	409	8	367	88.0%	247	9	111
11月	515	270	180	0	65	510	5	437	84.9%	280	15	142
12月	437	166	226	2	43	434	3	326	74.6%	251	8	67
28.1月	331	135	132	1	63	330	1	280	84.6%	169	7	104
2月	274	171	59	0	44	270	4	249	90.9%	155	4	90
3月	388	206	135	0	47	385	3	330	85.1%	214	7	109
4月	447	309	87	4	47	443	4	419	93.7%	310	16	93
5月	423	291	66	2	64	418	5	386	91.3%	297	5	84
6月	541	325	165	0	51	527	14	456	84.3%	354	13	89
対前月比	127.9%	111.7%	250.0%	0.0%	79.7%	126.1%	280.0%	118.1%	-	119.2%	260.0%	106.0%
対前年同月比	93.9%	90.8%	134.1%	0.0%	54.3%	91.8%	700.0%	101.8%	-	109.9%	86.7%	80.2%
27.1~当月計	2,481	1,570	590	3	318	2,460	21	2,133	86.0%	1,509	72	552
28.1~当月計	2,404	1,437	644	7	316	2,373	31	2,120	88.2%	1,499	52	569
対累計前年比	96.9%	91.5%	109.2%	233.3%	99.4%	96.5%	147.6%	99.4%	-	99.3%	72.2%	103.1%

### 2 地域別新設住宅着工戸数(平成28年6月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
県計	541	2,404	93.9%	96.9%	2,120
山形市	109	541	66.1%	76.3%	441
上山市	8	46	100.0%	97.9%	42
天童市	51	197	145.7%	105.3%	187
山辺町	19	44	211.1%	118.9%	35
中山町	5	35	250.0%	140.0%	25
東南村山	192	863	87.7%	85.9%	730
寒河江市	36	105	360.0%	85.4%	94
河北町	16	39	133.3%	88.6%	30
西川町	1	2	-	200.0%	2
朝日町	0	6	0.0%	150.0%	5
大江町	1	14	16.7%	107.7%	13
西村山郡	54	166	186.2%	89.7%	144
村山市	10	42	125.0%	79.2%	41
東根市	27	212	64.3%	108.2%	189
尾花沢市	5	29	125.0%	207.1%	25
大石田町	1	3	3.8%	9.7%	3
北村山	43	286	53.8%	97.3%	258
村山地域	289	1,315	88.1%	88.6%	1,132
新庄市	20	77	90.9%	142.6%	76
金山町	0	0	0.0%	0.0%	0
最上町	3	7	-	700.0%	7
舟形町	1	3	-	75.0%	3
真室川町	4	7	-	116.7%	7

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
大蔵村	0	1	0.0%	25.0%	1
鮭川村	0	2	-	100.0%	2
戸沢村	0	0	0.0%	0.0%	0
最上地域	28	97	107.7%	124.4%	96
米沢市	19	173	19.4%	61.1%	170
南陽市	24	83	160.0%	127.7%	73
高畠町	9	49	128.6%	169.0%	49
川西町	7	25	700.0%	178.6%	24
東南置賜	59	330	48.8%	84.4%	316
長井市	9	50	64.3%	72.5%	49
小国町	2	5	-	166.7%	4
白鷹町	6	20	100.0%	111.1%	20
飯豊町	2	8	200.0%	200.0%	7
西置賜	19	83	90.5%	88.3%	80
置賜地域	78	413	54.9%	85.2%	396
鶴岡市	64	249	237.0%	120.3%	211
三川町	4	20	133.3%	200.0%	18
庄内町	17	41	850.0%	170.8%	40
田川	85	310	265.6%	128.6%	269
酒田市	60	263	130.4%	147.8%	222
遊佐町	1	6	50.0%	40.0%	5
飽海	61	269	127.1%	139.4%	227
庄内地域	146	579	182.5%	133.4%	496

注:累計は平成28年1月~